

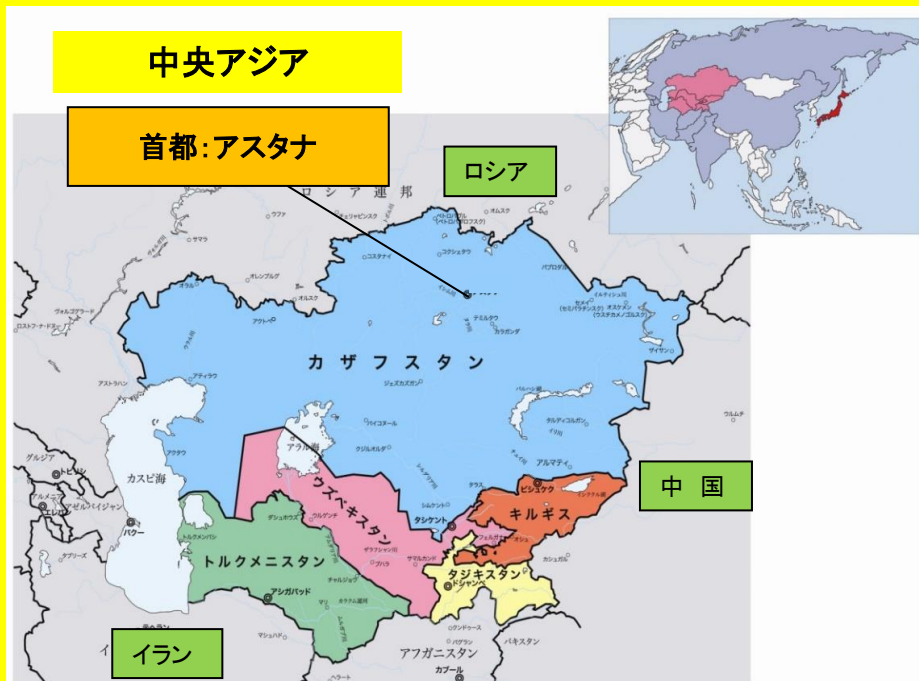
12月5日

カザフスタン・日本
外交関係樹立30周年記念講演会

駐日カザフスタン共和国大使館公使参事官
クルマンセイト・バトルハン

「カザフスタンと日本—平和への想いを共有
する友好関係」

カザフスタン共和国



人口: 1,920万人(2022年、国連人口基金)
(民族構成:カザフ系(68%)、ロシア系(19.3%)、ウズベク系(3%)、ウクライナ系(1.5%)、ウイグル系(1.5%)、タタール系(1.1%)、ドイツ系(1%)、朝鮮系(0.6%)等)
面積: 272万4900km²(日本の7倍。世界第9位)
言語: 国語はカザフ語(ロシア語は公用語)
宗教: カザフ系(人口の約2/3)の間ではイスラム教スンニ派が優勢。但しイスラム色は薄い。
GDP: 1,712億米ドル(2020年、IMF)
1人当りGDP: 9,071米ドル(2020年、IMF推計値)

【豊富な資源・エネルギー】

●石油・天然ガス、ウラン、レアメタル等
(国際石油開発帝石(INPEX)がカシャガン油田(原始埋蔵量約350億バレル)の権益7.56%を保有、複数の商社がウラン鉱山の権益を保有。)

【「域内の雄」的な存在】

●中央アジアで最も経済的に発展。国土面積も域内最大。
●アフガニスタンなどの途上国支援を行う立場に移行しつつある。

【国際社会における存在感】

●中央アジア初の安保理非常任理事国選出(2017-2018年)
●軍縮・不拡散(ソ連時代に核実験被害を経験)、仲介外交等
●2017年アスタナ国際博覧会開催

略史

15世紀後半:カザフ・ハン国の成立
(キプチャク・ハン国の継承国家の1つ)
1820年代まで:ロシア帝国、総督府を設置し、カザフ・ハン位の権限を段階的に停止
1850~1860年代:現在のカザフスタン全域がロシア帝国の支配下に(ロシア人農民が大量に植民)
1920年:カザフ自治ソビエト社会主義共和国成立(1925年、「カザフ(カザク)自治ソビエト社会主義共和国」に国名変更)
1936年:ソ連邦を構成するカザフ・ソビエト社会主義共和国に昇格
1991年:ソ連邦崩壊により独立
1997年:首都をアルマティよりアスタナに移転

政治情勢



トカエフ大統領

【政体】共和制 【元首】大統領

【議会】二院制(上院:定数50、任期6年、下院:定数98、任期5年)

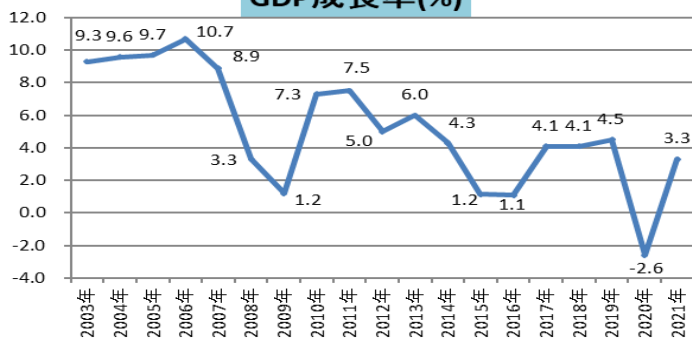
- **2019年3月19日、独立以来27年以上大統領を務めていたナザルバエフ大統領が辞任を発表。**
 - ・ナザルバエフは「初代大統領」として、大統領職を辞任後も、安全保障会議終身議長、与党「ヌル・オタン」党党首、憲法評議会終身メンバーの地位を維持していた(2022年1月に憲法評議会終身メンバー以外の職を、2022年6月に憲法評議会終身メンバーを退任)。
- **3月20日、憲法の規定に則り、トカエフ上院議長が大統領に就任。**
 - (参考)カザフスタン共和国憲法第48条1 「カザフスタン共和国大統領の任期前の解任あるいは罷免、死亡の場合、残りの任期における共和国大統領の全権は上院議会議長に移譲される。」
- **6月9日、臨時大統領選挙にて、トカエフ大統領(与党「ヌル・オタン」党の統一候補として出馬)が70.96%の得票率で当選。任期は5年(であった)。**
- **2022年1月、国内に発生した騒乱を受け、内閣総辞職、ナザルバエフ初代大統領が安全保障会議議長退任、トカエフ大統領が議長就任)。**
- **2022年6月、憲法改正を問う国民投票を実施(1月の国内の騒乱を受け、大統領権限の制限、初代大統領権限の削除、議会の再編成などの改正事項を反映)。国民の7割以上の支持を獲得し、改正(投票率7割弱)。**
- **2022年9月1日に国会にて行った教書演説の中でトカエフ大統領が前倒しで大統領選挙を行う意向を表明し、今後の大統領の任期を現行の5年から7年に延長し、これ以降の大統領は再選禁止の1期に制限することを提案した。**
- **2022年11月20日に行われた大統領選挙で81%の票を獲得し、トカエフ大統領が再選された。**

外交政策

- ロシア、中国、米国、欧州等の主要域外国とのバランスをとった外交を展開。
- 上海協力機構(SCO)、集団安全保障条約機構(CSTO)、イスラム協力機構(OIC)等の様々な地域内協力機構に参加。アジア信頼醸成措置会議(CICA)を主導する等、地域機構を通じた活動に積極的。
- グローバルな課題への貢献
 - ・軍縮・不拡散(国連「核実験反対の国際日」(8月29日)の制定)
 - ・中央アジア初の国連安保理非常任理事国選出(2017年-2018年)
 - ・ロシア・トルコ関係の改善、シリア和平交渉等、仲介者外交を展開
 - ・PKO派遣(レバノン・ミッション:UNFIL)、対アフガニスタン支援(ドナー化)
 - ・隣国などに対してCOVID-19に係る人道支援を実施
 - ・2020年、ODA実施機関であるKazAIDを創設。
- 大規模国際イベント主催による存在感向上
 - ・欧州安全保障協力機構議長国(OSCE)首脳会合(2010年12月)
 - ・冬季アジア大会(2011年1月~2月)
 - ・アジア開発銀行(ADB)総会(2014年5月)
 - ・冬季ユニバーシアード大会(2017年1~2月)
 - ・上海協力機構(SCO)首脳会合(2017年6月)
 - ・国際博覧会「EXPO-2017」(2017年6月~9月)
 - ・イスラム協力機構(OIC)科学技術サミット(2017年9月)
 - ・WTO閣僚会合(2020年6月にアスタナで実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で、開催地をジュネーブに変更の上、2022年に延期(議長国はカザフスタン)。)

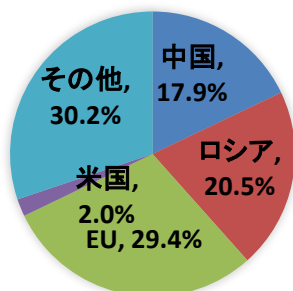
経済情勢・日本との経済関係

GDP成長率(%)



出典: World Economic Outlook (IMF)

貿易相手国・
地域別シェア
(%、2021年)



出典: IMF

- 2000年代、エネルギー・鉱物資源の輸出を原動力に急速な経済成長を達成。
- 2015年1月、ロシア、カザフスタン、ベラルーシを加盟国とするユーラシア経済同盟が発足(同月アルメニア、同年5月、キルギス加盟)。
- 2015年11月、WTO加盟。
- 交通、エネルギー、産業・社会インフラ整備、中小企業発展分野を中心とした経済構造改革を推進。
- 2020年は原油安と新型コロナウイルス感染症拡大のあおりを受け、GDP成長率は著しく低下したが、(-2.6%、2020年IMF)、2021年は4.1%となり、IMFによる今年2022年10月時点の推計で2.51%となっている([IMF - World Economic Outlook Databases](#) (2022年10月版))。

【日本カザフスタン経済官民合同協議会】

- 2016年11月、東京にて第6回協議会を、2018年6月、アスタナにて第7回協議会を開催。
- エネルギー、交通・都市インフラ、投資、防災、医療、水、鉱物資源、デジタル分野等につき意見交換。

【経済関係発展に向けた法的基盤の整備】

- 2009年12月、日・カザフスタン租税条約発効。
- 2011年5月、日・カザフスタン原子力協定発効。
- 2015年10月、日・カザフスタン投資協定発効。

貿易

日本の輸出: 約383.53億円

(自動車、ゴムタイヤ、建設用・鉱山用機械等)

日本の輸入: 約786.10億円

(合金鉄、原油及び粗油、非鉄金属等)

(2021年財務省貿易統計)

日本からの投資

進出企業数: 36社

(2019年10月現在、
海外進出日系企業拠点数調査)

直接投資額: 約2.9億米ドル(2020年フロー)

国際石油開発帝石(INPEX)がカシャガン油田の
権益7.56%を保有。複数の商社がウラン鉱山の権益を保有。

日本との関係

- 1992年1月外交関係樹立。
- 在日カザフスタン大使館は1996年2月、在カザフスタン大使館は1993年1月開設。
- 在留邦人数:121名(2021年10月現在)、在日カザフスタン人数:423名(2021年6月現在)

近年の 要人往来

06年 8月 小泉総理大臣
 07年 4月 甘利経産大臣
 10年 8月 岡田外務大臣
 11月 伴野外務副大臣
 12年 5月 枝野経産大臣
 9月 浜田外務大臣政務官
 11月 近藤経産副大臣
 13年 7月 佐藤経産政務官
 14年 8月 茂木経産大臣
 15年 4月 藺浦外務大臣政務官
15年 10月 安倍総理大臣
 16年 8月 滝沢外務大臣政務官
 17年 7月 世耕経産大臣、小林防衛大臣政務官
 17年 8月 中根外務副大臣、平木経産政務官
 17年 9月 武藤経産副大臣、西銘経産副大臣
 18年 12月 山田外務大臣政務官
 21年 8月 中西外務大臣政務官
22年 4月 林外務大臣

1994年の初来日と1999年12月の来日に続き、
08年 6月 ナザルバエフ大統領
 10年 3月 サウダバエフ国務長官兼外相
 11月 ムハメジャノフ下院議長
 12年 11月 イドリソフ外相
 13年 2月 イセケシェフ副首相
 兼産業新技術相
 4月 マミ上院議長
 15年 8月 アブディカリコヴァ国務長官
 16年 4月 イシムバエヴァ下院副議長
16年 11月 ナザルバエフ大統領
 17年 5月 クルムハメド与党「ヌルオタン」党
 第一副総裁
 18年 5月 アバエフ情報通信大臣
 19年 3月 イシムバエヴァ下院副議長
19年 10月 ナザルバエフ初代大統領(即位の礼)
 *その他、20年5月、10月に外相電話会談を、
21年 5月に首脳電話会談を実施。
22年 9月 トレウベルディ副首相兼外相

経済協力 (ODA)

有償資金協力: 951.00億円

無償資金協力: 64.14億円

技術協力: 136.22億円

(2019年度までの累計)

(空港・道路等のインフラ整備、保健・医療、人材育成等)

※経済発展とともに、ODA卒業間近。現在は技術協力と「草の根・人間の安全保障無償資金協力」が中心。

軍縮・ 不拡散

ソ連時代に核実験被害を経験し、独立時に核兵器を放棄。軍縮・不拡散分野での協力を重視。CTBT発効促進会議共同調整国として協力(2015年9月～2017年9月)

日本との関係

- カザフスタンと日本は今年外交関係樹立の30周年を迎えた。
- 4月29日に、林外務大臣はカザフスタンを訪問し、トレウベルディ副首相兼外務大臣と会談し、トカエフ大統領への表敬を行った。双方はウクライナやアフガニスタンを含む国際問題に関し、また、北朝鮮の核問題などの国際課題に対して引き続き様々なレベルで緊密に連携していくことを確認した。経済分野など幅広い分野で両国関係を発展していること、または、「中央アジア+日本」対話を通じた協力を含め、二国間の戦略的パートナーシップを更に発展させていくことで一致した。

※日本の外務大臣のカザフスタン訪問は、2010年の当時の岡田外務大臣の訪問の依頼の12年ぶりの訪問だった。

- 9月26日～27日にカザフスタンのトレウベルディ副首相兼外務大臣が安部元首相の国葬に参列する目的で来日し、林外務大臣と会談を行った。
- 今年の12月にカザフスタンのトレウベルディ副首相兼外務大臣が東京で主催される「中央アジア+日本」外相会合への参加する目的で来日する予定となっている。
- また、両国の国会における友好議員連盟の活動も両国間関係強化に貢献してきている。

※ 2022年11月1日に、カザフスタンとの友好議員連盟の会長に自民党の遠藤利明総務会長が就任し、幹事長に西村康稔経産相が就任しました。

カザフスタンと国際社会

カザフスタンのウクライナ情勢に対する立場

- 2月24日に開始されたロシアによるウクライナでの「特別軍事作戦」に関するカザフスタンの正式な立場は、「ロシアとウクライナの問題が国連憲章を基盤とする国際法に基づいて外交手段によって解決されるべきであり、それに、必要であればカザフスタンが仲介役を果たす準備がある」である。
- 3月2日にトカエフ大統領はプーチン大統領とゼレンスキー大統領と相次いで電話会談を行い、ロシア、ウクライナ両国に交渉による平和的解決を呼び掛けた。
- しかし、国民の殆どが感情的にウクライナを支援している。国民の間で物資などが募集され、ボランティア活動によって何回かに亘ってウクライナ国民に送られている。
- 国内において当局による許可の下でウクライナへの応援集合（ロシアによる軍事侵攻への反対デモ）が実施された。
- 国民の声を踏まえ、政府は今年5月9日の対独戦勝記念日の祝賀パレードを実施しないことを決定した。
- ウクライナ侵攻を巡ってCSTOを通じた派兵要請を受けたとされており、カザフスタンはそれを断った。
- そして、6月17日に、サンクトペテルブルグで開かれたロシア政府主催の国際経済フォーラムでトカエフ大統領は、「今日の国際法はまず国連憲章である。しかし国連憲章の中の2つの原則が矛盾に陥っている。主権国家の不可侵な領土の一体性と、個々の民族の自決権という原則である。もしも民族自決権がすべてこの地球上で実現したら、いま国連に加盟している193カ国のかわりに、500や600を超える国が生まれることになる。もちろんそうなればカオス（混沌）だ。この理由によって、われわれは台湾もコソボも南オセチアもアブハジアも承認しない。この原則によって、われわれは、われわれの見解では偽装国家に当たるルガンスク国民共和国とドネツク国民共和国も承認しない」、と発言した。

カザフスタンと国際社会

ロシア

- サクトペテルブルグでの国際経済フォーラムの4日後の6月21日に中東のカタールで開催された国際経済フォーラムに参加したトカエフ大統領が、「In Conversation with President Tokayev」という特別パネルディスカッションにおいてモデレータから「プーチン大統領がカザフスタンにとって信頼できる相手だと思うか」と質問されたのに対して、「はい、彼がカザフスタンにとって信頼できる相手であり、私はプーチン大統領との緊密な関係を喜ばしく思う」と回答して、最後に「我々はそうしなければならない、[We need to do so](#)」と付け加えました。
- その後トカエフ大統領がプーチン大統領と6月29日にトルクメニスタンの首都アシガバードで開催された第6回カスピ海沿岸諸国サミットで面談し、7月12日に電話首脳会談を行い、更に、8月19日にロシアのソチ市で首脳会談を行っており、両国の様々な分野における戦略的な協力関係の重要性について話し合っている。
- また、10月13日カザフスタンのアスタナで開催されたCICAアジア相互協力信頼醸成措置会議サミット、その翌日の14日に同じくアスタナで開催されたCIS諸国首脳会議、または「ロシア・中央アジア」会合の首脳会談において会談している。
- そして、11月20日の選挙で再選されたトカエフ大統領が11月23日にアルメニアで主催されたCSTO加盟国サミットに参加し、28日・29日にロシアを訪問し、首脳会談を行った。

カザフスタンと国際社会

中国

- カザフスタンに騒乱が発生した1月10日、中国の王毅外務大臣はロシアのラブロフ外相と電話で会談し、混乱が続くカザフスタンにCSTOの部隊を派遣したことを支持する考えを示した。中国外務省によると、会談で王外相は「CSTOがカザフスタンの主権を尊重し、テロ勢力と戦い、カザフスタンの安定を回復するために積極的な役割を果たすことを支持する」と述べ、部隊の派遣を支持する考えを強調し、そのうえで、「中国とロシアは中央アジア諸国の友好的な隣人であり、この地域での混乱と戦争を決して許してはならない。両国は協力を深め、外部勢力による中央アジア諸国の内政干渉に反対しなければならない」と述べた。
 - ※ 中国としては、今回の部隊の派遣にアメリカが疑問を呈する中、友好国ロシアが主導する部隊の派遣を支持することで、新疆ウイグル自治区と接するカザフスタンの早期安定を後押しするねらいもあったものとみられる。
 - ※ カザフスタンは今回の騒乱に関してCSTOへ平和維持部隊の派遣を要請したが、中央アジア地域の安全保障に関する地域機構としてはほかに上海協力機構(SCO)がある。カザフスタンも加盟するSCOにも軍事支援を行う枠組みがあるが、今回SCOは声明を発表するにとどまり、積極的な関与はみられなかった。
- 4月25日、中国の国防大臣がカザフスタンを訪問し、カザフスタンの防衛大臣との会談の他、大統領への表敬を行った。
- 9月15日、カザフスタンを訪問した中国の習近平国家主席はトカエフ大統領と会談し、中国が提唱する経済圏構想「一帯一路」などに触れたうえで「外部勢力による中央アジアへの干渉に反対する」と強調した。

カザフスタンと国際社会

欧州連合

- トカエフ大統領は1月10日に欧州連合(EU)のミシェル大統領と電話協議し、国内で発生したデモと騒乱は「テロ攻撃だった」と説明した。
- トカエフ大統領は「アフガニスタンや中央アジアを中心とした外国人戦闘員と中東の過激派が、組織的なクーデターを試みた」と語った。
- CSTOに派兵を要請したことが「必要だった」と主張する一方、「EUやその加盟国とも協力をさらに発展させていく」と述べた。
 - ※ 欧米では、カザフスタン治安部隊によるデモ隊への武力鎮圧を疑問視する声も出ており、騒乱を「テロ攻撃」と位置付けることで事態沈静化を狙ったものとみられる。
- また、トカエフ大統領は7月4日にEUのミシェル大統領と再び電話会談を行い、カザフスタンにとってEUが最大な貿易相手であることと主張し、カザフスタンが中央アジアの中でEUと拡大経済協力協定を締結した最初の国であることを強調したうえで、ロシアからの燃料資源のEUへの輸出量が欧米からの経済制裁によって制限された事情を踏まえ、カザフスタンからEUへの原油輸出货量を増加させることの重要性について語った。
 - ※ トカエフ大統領とミシェル大統領とこの電話会談の翌日の7月5日にロシアは、カザフスタンからロシア国土軽油で黒海に至る原油パイプライン「カスピ海パイプライン・コンソーシアム(CPC)」を点検のため1カ月間停止すると発表した。
 - ※ これを受けトカエフ大統領が国家安全保障会議を開き、カスピ海を通してロシアを経由しない輸出ルートの開発にもっと注力するよう政府や地方自治体、国営企業などに指示を出した。
- 11月27日欧州連合(EU)のミシェル大統領がカザフスタンを訪問し、トカエフ大統領と会談を行い、そのためアスタナに集合した中央アジア諸国首脳との会談を行った。

カザフスタンと国際社会 世界伝統宗教リーダー会議

- 2022年9月14日～15日、カザフスタンの首都アスタナで第7回「世界伝統宗教リーダー会議」が行われ、世界各地の宗教リーダーのほか、国際機関、各国外交団の代表らが参加した。
- 今回の会議には世界のおよそ50カ国から、イスラム教、キリスト教、ユダヤ教、仏教、神道など80人以上の宗教指導者・代表者らが参加した。
- これは「対話を通じて共存のモデルを構築する」との趣旨で、カザフスタン政府の主催で2003年から開かれてきた会議であるが、今回のテーマは「パンデミック後の人類の精神的・社会的発展における世界の伝統宗教のリーダーたちの役割」であった。コロナ禍をはじめ気候変動や核戦争の脅威など、危機が高まる時代における宗教の役割を巡り、議論が交わされた。
- 会議開会式にてトカエフ大統領が基調講演を行い、同会議への参加目的でカザフスタンを訪問中のフランシスコ・ローマ教皇があいさつし、グテーレス国連事務総長のビデオメッセージが紹介された。
- 同会議に日本から神道を代表して神社本庁の代表者及び仏教を代表して創価学会の代表者が参加した。

遥かなる国カザフスタン 民族・国籍を越えて

～ ウラルスク省エネルギーモデル事業は日カ友好の架け橋 ～

令和4年12月5日 日カ外交関係樹立30周年記念講演会
酒田共同火力発電株式会社 取締役社長 千葉秀樹

1.はじめに

2.カザフスタンのご紹介

3.ウラルスク省エネルギーモデル事業の実施結果について

4.酒田とカザフスタンとの交流について

5.最後に

1. はじめに



完成したガスタービン・コジェネレーション設備

NEDO省エネルギーモデル事業

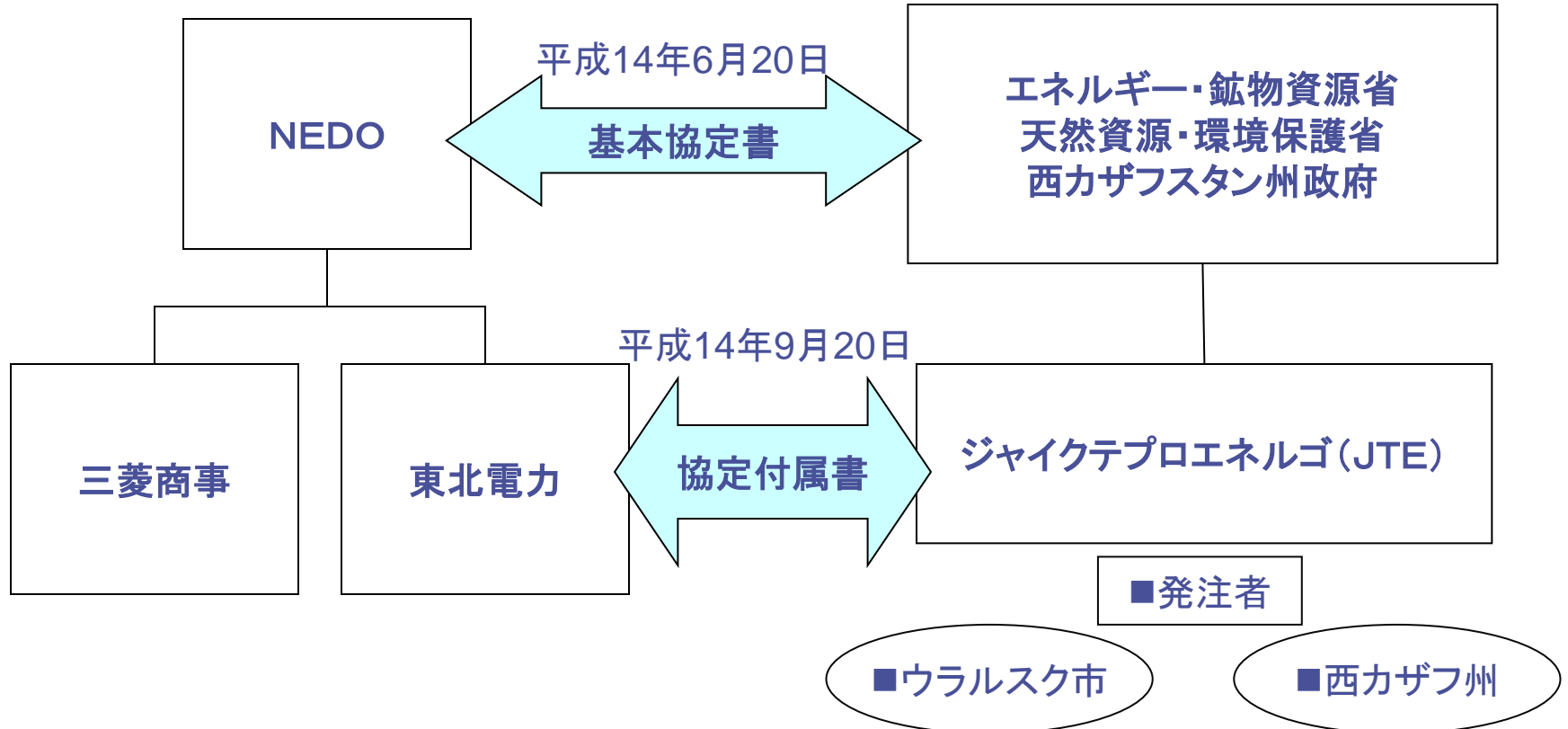
- 日本国において既に実用導入されているエネルギー有効利用技術(省エネルギー技術及び石油代替エネルギー技術)を、未だ当該技術の普及が遅れている関係国のエネルギー多消費産業施設等に適用(改造等)することにより有効性を実証し、定着・普及を図る。(※NEDO:独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構)

ウラルスク熱電併給所省エネルギーモデル事業の目的

- “既設ボイラーコジェネレーション設備”から“高効率ガスタービン・コジェネレーション設備”へのリプレース
 - 高効率ガスタービン・コジェネレーションによるCO₂削減
 - 日本製高効率ガスタービン・コジェネレーションシステムのカザフスタンにおける普及
- ⇒東北電力がNEDOから委託を受けてウラルスクモデル事業を実施

NEDO省エネルギー事業の体制

- 土木建築工事，機器据付工事，機器試運転はカザフスタン国の所掌で事業を実施
- 日本側からは，ガスタービン，HRSG，ガスコンプレッサ，空気コンプレッサー，電気・制御機器を提供，日本側提供機器の据付・試運転指導，工事全般に対して助言・指導を実施



2. カザフスタンのご紹介

カザフスタンってどんな国？

- 人 口 1,800万人 首都:アスタナ120万人, 旧首都:アルマティ180万人, ウラルスク20万人



- 民 族 カザフ人:58%, ロシア人:26%, ウクライナ人, ウズベク人, タタール人, ウイグル人:1~3%, 朝鮮民族:少数
- 気 候 ステップ気候, 夏 40°C, 冬-30°C
- 言 語 ロシア語, カザフ語
- 宗 教 イスラム教(スンニ派):65%, ロシア正教:32%
- 資 源 ガス, 石油, 石炭, ウラン, レアメタルなどを産する資源大国
- 伝 統 結婚相手の選定, 割礼
- 治 安 比較的安定
- 日本との関係 現地の人には日本に好意的

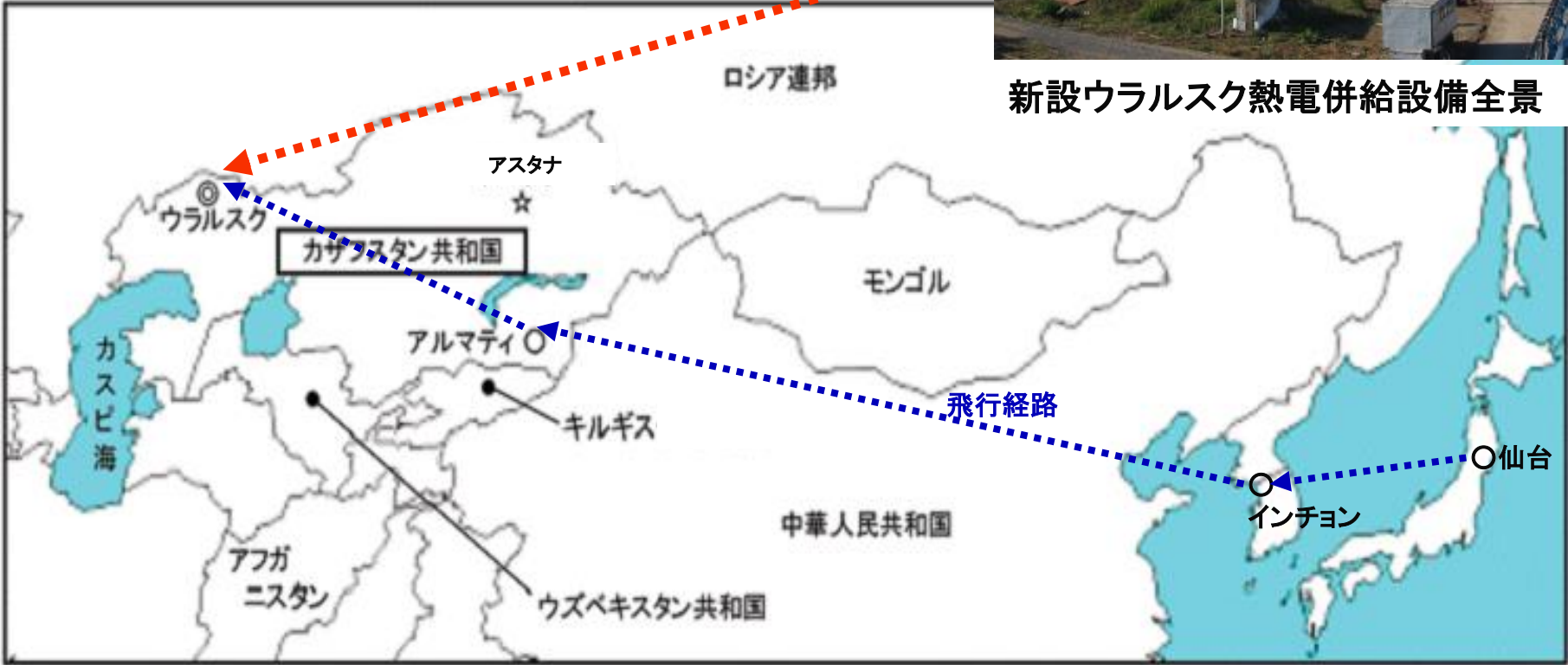
カザフスタンにはどうやって行くの？

Plant Output	: 28,350 kW
Heat Output	: 48.4 ton/hr
Overall Efficiency	: 77.5 %
Fuel	: Off gas / LPG



新設ウラルスク熱電供給設備全景

カザフスタン共和国位置図

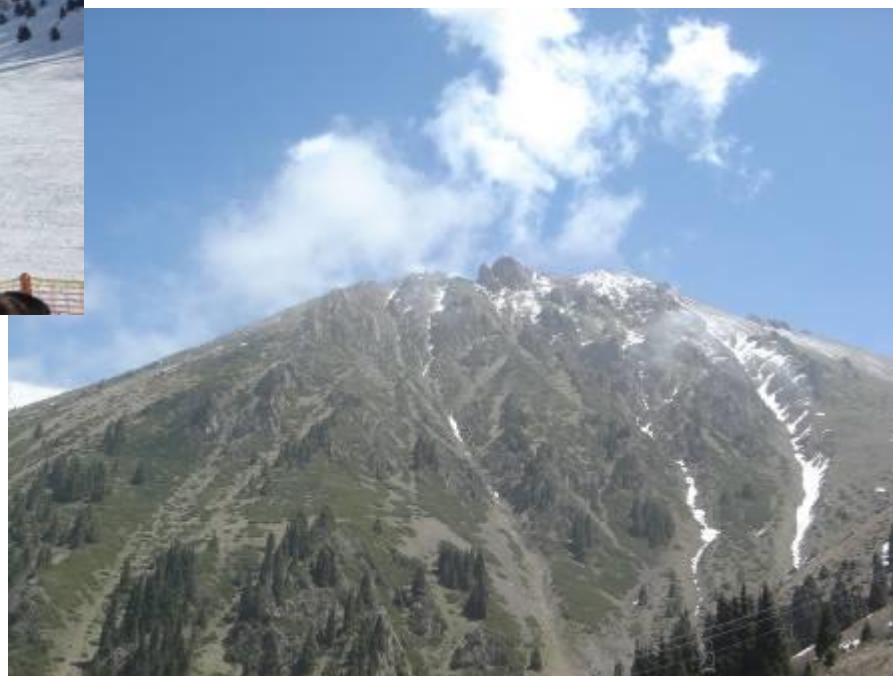


カザフスタンの自然 アルマティの天山山脈



冬のアラタウ山系

カザフスタン共和国位置図

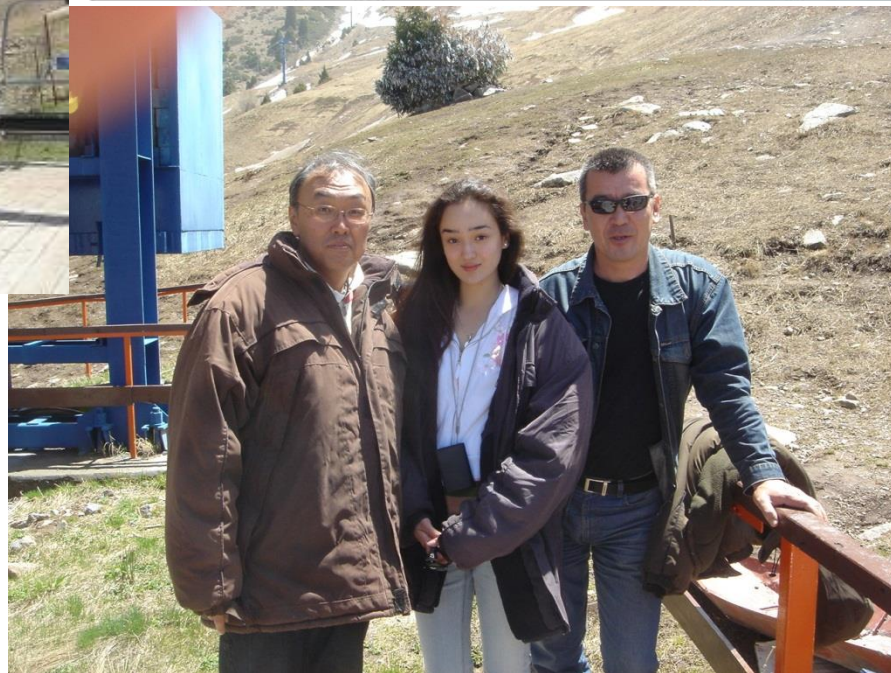


夏のアラタウ山系

カザフスタンの自然 アルマティ 天山山脈シンブラクにて



インド人, ロシア人観光客と



ウズベク人カップルと

カザフスタンの自然 アクタウの街で初めて見るカスピ海



カスピ海とアクタウの街



釣りをする少年



放し飼いのラクダ

カザフスタンの自然 シャルカル湖



ヨールタの休憩所



地元の方とシャルカル湖をバックに



ウラル川の渡し



全面氷結したウラル川

人工都市・アスタナ(首都)



アスタナタワー(黒川紀章デザイン)



国防省



大統領府



秋のウラルスクの街並み



夏・午後8時半のウラルスクの街の通り

イスラム教モスクとキリスト教ロシア正教会



イスラム教のモスク



モスクの中



ロシア正教会



ウラルスク中央バザール①



ウラルスク中央バザール②

アルマティの日本人墓地



アティラウの街 アジアとヨーロッパの境界



ウラル川

カザフスタン共和国位置図



ヨーロッパ

カザフスタンの食べ物 ラグマンとベシュパルマック



ウラルスク・ビビグルのラグマン



ベシュパルマック(五本の指)



ウラルスク・アイルナのシャシリーク
(スピニーナ:豚)



アルマティのシャシリーク(バラニーナ:羊)



路上販売のスイカとメロン



熱電併給所 食堂の昼食



アルマティの寿司



干したサンマ

カザフスタンでの余暇の過ごし方



ロシアンビリヤード



釣り



ハイキング



ナイトクラブ(ディスコ)



日本食パーティー

その他

- ・焼肉屋, ボーリング, 卓球, 飲酒, サウナ風呂
- ・BSジャパン, 日本のビデオ鑑賞等

優秀なカザフスタン人の通訳



通訳のメンバー

カザフスタン共和国位置図



3. ウラルスク省エネルギーモデル事業の実施結果について



土地掘削



HRSG基礎工事



ガスタービン基礎



土木工事業者と



ジャッキアップにてトランスポートに積みこみ



ジャッキにて移動



トランスポートにて基礎近傍へ移動



発電機を仮置き場から基礎まで移動中 →



HRSGを鉄道クレーンで据付



煙道据付



現場工事業者とGT据付後に



虫除け対策



左官職人の方々と



東北電力挨拶



基礎ボルト締結式



記念パーティー(直会)



アシモフ西カザフ
州知事表敬訪問



民族衣装に身を包んだコンパニオン



案内掲示板

↑
東北の自然と祭りを紹介したパネル展 →

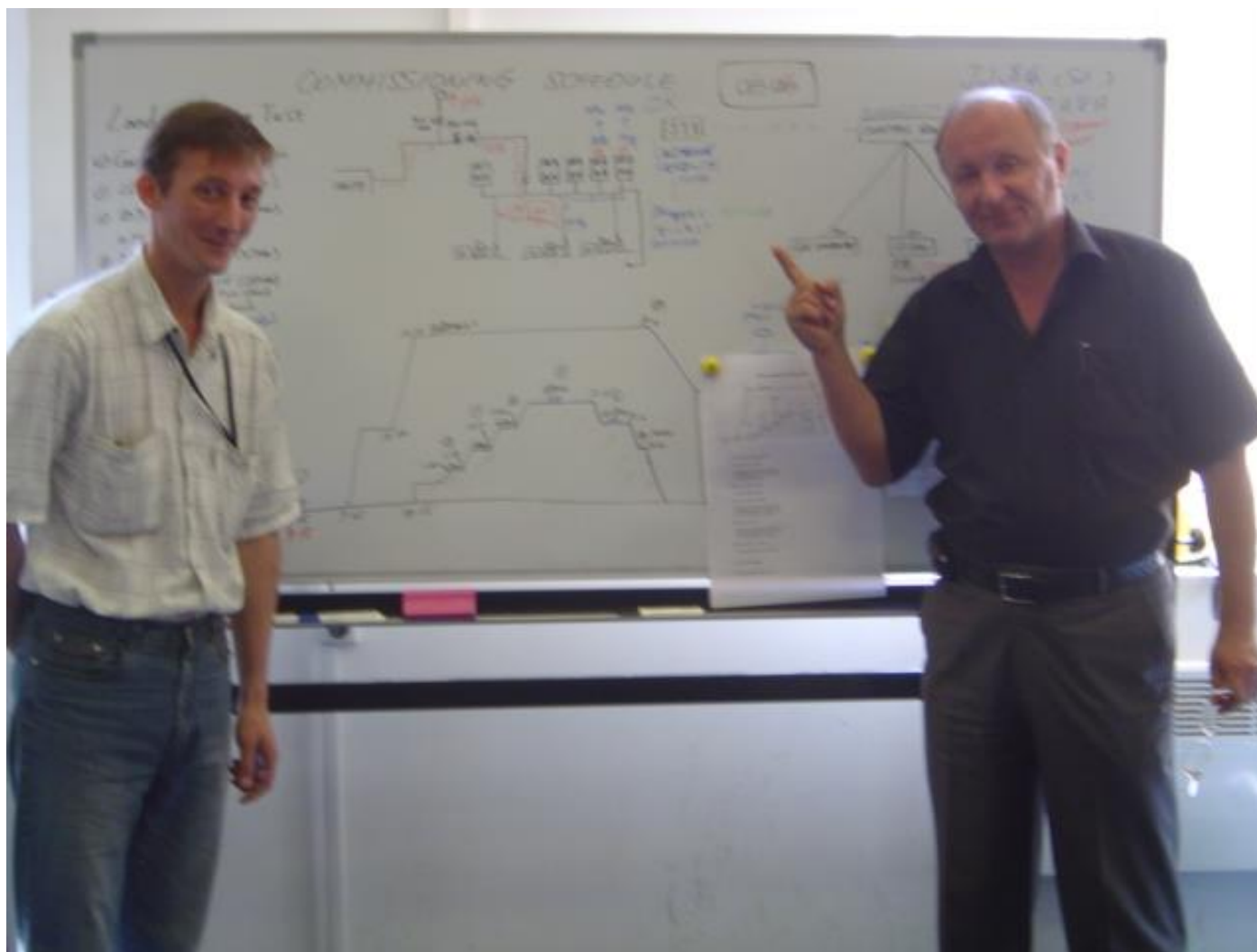




受付 サイン会の様相？



受付担当通訳 小泉首相？



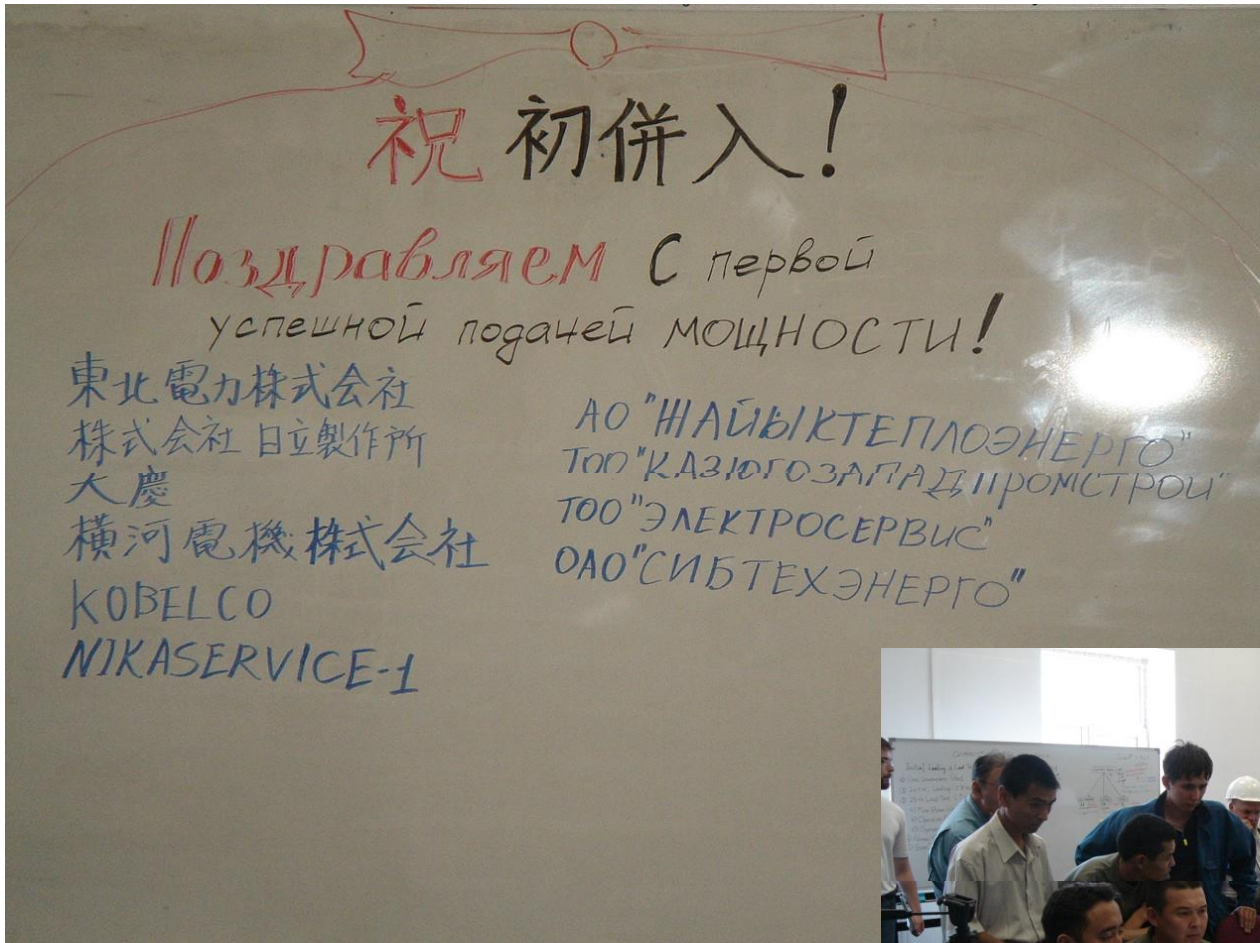
アンドレイ技師とコニュホフ主任技師(右)



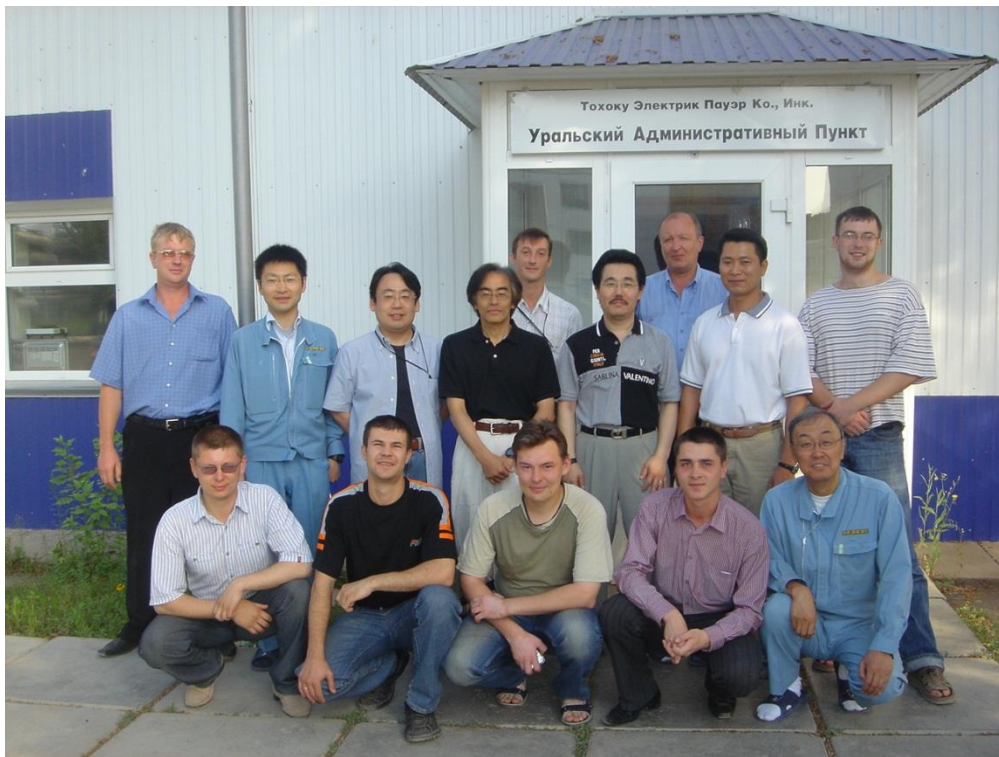
大統領府役人，副市長の試運転視察



試運転中の中央制御室で



試運転 ウラルスク熱電併給所でプロジェクト関係者と



試運転業者および事務所メンバーと →





伊藤カザフ大使(右から2番目), NEDO理事長(右)と



大統領を迎えての竣工式開催



挨拶されるナザルバエフ大統領



プレゼンテーション会場





州政府関係者, 工事業者と



エルダニホテル概観



エルダニホテル周辺



エルダニホテルのスタッフと



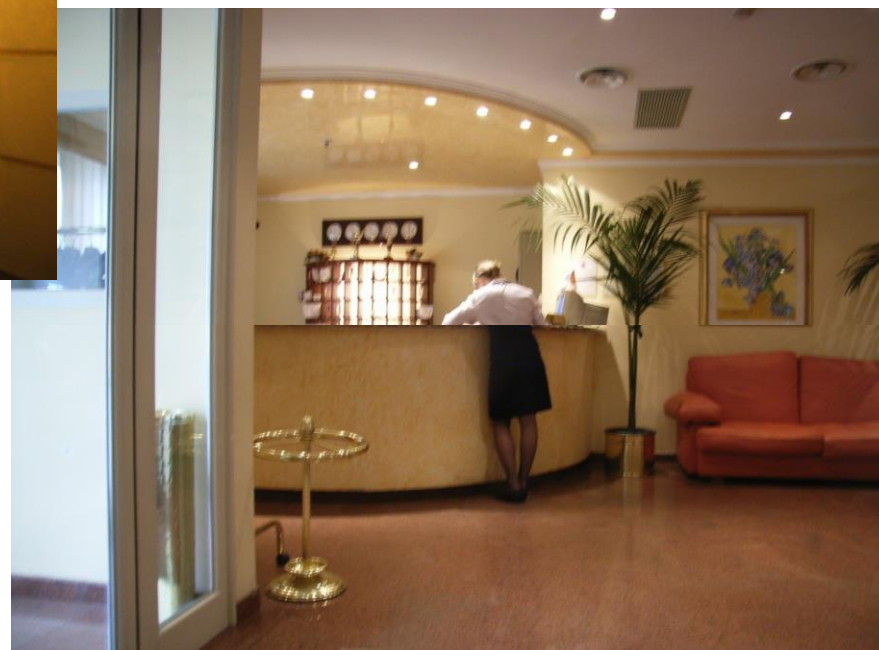
平尾所長, 日立TAおよび韓国人TAと



1960年代製造のバス



プーシキンホテル外観



レセプション



据付業者と



ウラルスクTETS関係者 プーチン大統領？

- ・発電機内部への雪混入事件
- ・HRSGエキスパンション焼損事件
- ・減速機一部破損
- ・工事に必要な資機材不足
(大型クレーン, 溶接棒, チェーンブロック, カラーチェック液などがウラルスクにない。)
- ・渡航メンバー 真夜中の救急車搬送による緊急入院 等

- ・プロジェクト成功の鍵は民族を越えた関係者の**信頼関係**
～**同じ目線**に立った**双方向**の**コミュニケーション**～
- ・百聞は一見に如かず **自分の目で直に**確かめるということ
～**現場・現物・現実**の**三現主義**～
- ・対応案は**最低3つ**持て
～中国故事「**狡兎三窟を掘る**」の教え～
- ・目的達成に向けた**臨機応変**な対応
- ・**世界を相手**に仕事を行う**視点の必要性** など
～山口旭酒造・瀬祭, 広島竹宝堂・高級化粧筆など～

4. 酒田とカザフスタンの交流について

自分の海外勤務の経験から、海外のプロジェクト実施にあたっては、**チャレンジ精神、人脈、自ら行うこと**がなければ、まず、先に進まないと感じた次第

→ 地域活性化でも同様なことが言えるのでは？

○高野誠鮮氏（ローマ法王に米を食べさせた男）曰く

（高野誠鮮氏：石川県羽咋市の元スーパー公務員。限界集落・神子原地区の改革に尽力）

- ・地域はお金がないから疲弊するのではない。何もしないから疲弊するんです。
- ・私たちは、電気が切れたら新しい電球に替えますよね。だけど疲弊した町では、役人も住人も暗い、暗いと嘆いているだけ。しかも、その内容も「梯子から落っこちたらどうする」って、そんなことばかりです。梯子に上って、電球を替える行動をしなければならない。

夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、
計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし
故に、夢なき者に成功なし

吉田松陰

→ 裏を返せば、「**夢ある者には成功の可能性あり**」ということではないか。地域活性化のためには、夢を持ちチャレンジし続けることが必要ではないか？

○**酒田から世界へ、志高く！**

世界へ目を向け、世界に羽ばたき、地域の活性化に繋げていく必要もあるのではないか？

まず、自分ができることを行うべきでは？

ハチドリのはたとしずく ～南米アンデスの先住民の間に伝わる民話～

森が燃えていました

森の生き物たちはわれさきにと逃げていきました

でもクリキンディというハチドリだけは行ったり来たり

口ばしで水のはたとしずくを一滴ずつ運んでは火の上に落としていきます

動物たちはそれを見て「そんなことをしたっていったい何になるんだ」と笑います

クリキンディはこう答えました

「私は、私にできることをしているだけ」

○市民を地域活性化という視点で見ると、1割が志民、残り9割は死民

→ 地域活性化は、9割の死民をどれだけ支民に変えられるかがポイントとのこと。

→ 我々の周りにクリキンディを増やすことが必要か？

酒田産品 カザフ輸出めざす

企業有志 地域振興へ現地調査



酒田市を中心にした庄内の企業有志が、酒田の物産・技術をカザフスタンに輸出しようとして模索し始めた。キーマンは現地に人脈を持つ酒田共同火力発電の千葉秀樹社長(61)。ロシアや中国と隣接するカザフは、ロシアへの輸出拠点にもなり得るといふ。地域振興につながる可能性から賛同した前田製管の前田直之社長(47)を団長に先月、先遣隊が現地調査を行った。

千葉社長は親会社の東北として、新エネルギー・産出されるカザフ外務省特派大電力で長く火力分野で活躍 業技術総合開発機構(NE 使に就いている)しカザフで2004年から(DO)から受託した同発電 日本外務省によると、カ

2年半、高効率火力発電所 所事業で構築した人脈が今 ザフは人口1860万人での建設に従事した経験を持ち も生きており、当時の通訳 石油・天然ガスなどのエネつ。地球温暖化防止を目的 だった男性は次期大使とい ルギー資源、鉱物資源に恵

まれた国、日本からは自動車や建設用機械を輸出し、主要国際援助国となっている親日国でもある。千葉社長は日本の大手企業がそれほど進出していないことから、決断の早い中小企業が先行できる市場と分析。千葉社長と前田社長が地域振興策を話し合う中で、調査事業が具体化していった。両社長の下で、食肉卸業や酒蔵、着物の布を使っ

カザフスタンでの現地調査の概要を報告する酒田共同火力発電の千葉秀樹社長(左) 酒田市・若葉旅館

地酒販売、ラーメン店開業 実現に手応え

た小物販売会社などの代表者を加え、6人で先月上旬にカザフを訪問。大手商社の協力を得て▽地酒、和食物、中古タイヤなどの物品と各種製造技術の輸出▽酒田ラーメンの店舗の開業の可能性を具体的に調査した。カザフ政府関係者や現地の流通、不動産業者の代表者とも意見を交わし、人的ネットワークを生かして複数社で結束すれば、多様な中小企業が参入できるとの手応えを得た。

酒田市内で先月下旬、現地調査の報告会を開き、今後について検討。まず現地で毎年開催される日本文化デーへの酒田ブース出展と本調査隊派遣、酒田でカザフ文化を紹介する催しの実現を目指すことを決めた。前田社長は「飲食、観光、金融業などの幅広い業種の有志がサポーターにいる。人脈がある酒田が優位に立っている有望な国」と可能性の大きさを強調し、千葉社長は「地域と共生することが当社の企業理念。できることを全力でやりたい」と話している。

(坂本由美子)

カザフスタン外務省での面談



カウンターパートとの交流



ラウエラ社長との面談



元通訳の面々との懇談

酒田市にて、カザフ人留学生2名を招聘し、民族衣装を着てのカザフの歌、踊りのご披露ならびにカザフスタンのPRを実施

カザフスタンの歌や踊りを披露する酒田・世界の料理フェア 韓国、タイ、中国などの料理や文化を紹介する世界の料理フェアが1月26日、酒田市の交流ひろばで開かれ、ステーション発表で中央アジア・カザフスタンの歌と踊りが披露された。

酒田市周辺は4日、久しぶりに青空が広がり、暖かな日差しが降り注いだ。鳥海山麓の遊佐町富岡では、約30羽のハクチョウが羽を休める姿が見られた。落ち穂や雑草の新芽を食

遊佐・ハクチョウ

カザフのステーションは、カザフの文化を広く市民に紹介する目的で、酒田の物産・技術をカザフに輸出しようとして昨年9月に現地を調査した庄内の企業有志が初めて企画。現地に人脈のある酒田共同火力発電の千葉秀樹社長が、筑波大などに留学しているカザフ国立大学の女子学生2人を招き、実現した。



2人は世界で9番目に大きい国土を持ち、冬はスキも楽しめる同国の概要や、伝統的文様を流ちょうな日本語で紹介。細やかな鮮やかな衣装で踊りを披露するカザフスタン出身の女性(中央)。来場者が踊りの輪に加わる場面もあった

酒田市・交流ひろば

あすの予定

【庄内】◇狩川保育園開放は午前9時半、同園。



5. 最後に

今から数年前、省エネモデル事業に関わった商社の方が仕事でウラルスクに行きました。

空港からタクシーに乗ると、運転手が話しかけてきました。

「あなたは日本人か？」

商社の方は答えました。

「そうです。」

運転手は言いました。

「今から10年ほど前に、日本人がやって来て、我々のために
発電所を造ってくれたんだ。感謝しているよ。」

この話を伝え聞いて、カザフプロジェクトに関わり、ウラルスクの人々の記憶に残ることができ、そして、彼らのためになることができたと感じた。

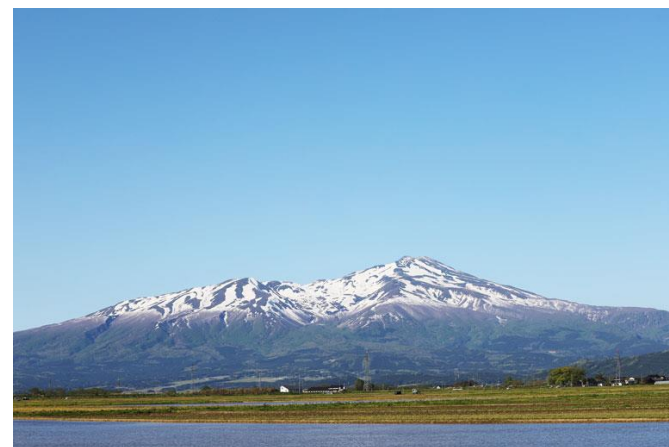
日カ友好の架け橋になれたのではないだろうか。

ご清聴ありがとうございました。

『カザフフェスタinさかた』
で結ばれた絆

山形カザフスタン友好協会会長 加藤明子

こんにちは！山形県酒田市から来ました。



おいしい山形空港おいしい庄内空港、温泉と美食美酒の王国
酒田は日本海側に面した「庄内地方」の歴史ある湊町

おいしいものしか ありません (当協会調べ)



カザフスタンとの出会い

- 「国際交流サロン」で行われた「世界の料理フェア2020」に招かれたカザフの留学生との食事会

刺激的な異文化との出会いと親近感
カザフスタンをもっと知りたい！
みんなにも、もっと知らせたい！

カザフスタン写真パネル展開催

令和2年度酒田市公益活動支援補助事業

入場無料
なぜ?カザフスタン?
それは見ればわかる!

カザフスタン 写真パネル展

2021.1.27(水)~2.15(月)
会場: マリーナ5清水屋
3階特設会場(酒田市中町2-5-1)
10:30~17:00

カザフスタンと酒田、
実は既に深く技術交流
があるのん!

カザフスタンは
海のない広ーい国!
これまでの交流から
知ってもらいたいカザフの魅力満載の写真展!

主催: 山形カザフスタン友好協会
事務局: (有)チアーズ 酒田市御成町8-21 TEL.0234-23-8097
Facebook: 山形カザフスタン友好協会 で検索!

2021年1月、酒田市から公益活動として支援を受け、カザフスタンのイベントを初開催しました。

主催団体として山形カザフスタン友好協会を結成。

会員はカザフスタン訪問メンバーに加え、中央アジアとの交流に興味を持つメンバーが集まりました。

展示品はカザフ大使館から借用し、大きな協力をいただきました。

初めてのカザフスタンイベントは大成功

- コロナ禍前のギリギリのタイミング、約1000人が見学。



カザフフェスタinさかた！2021 を開催

令和3年度山形県立総合文化センター事業

カザフフェスタ in さかた!

中央アジア

道庁でカザフスタンを感じる6日間!

【開催】 2021.11/17(水)~22(月)

【会場】 山王くらぶ 9:00-16:30

【主催】 山形カザフスタン愛好会 事務局 0234-23-8097

中央アジア カザフスタン展

中央アジア バザール

アタマツルムアタマリーによるステージ

山形カザフスタン愛好会

Facebook

QRコード

- カザフを中心とした中央アジアバザールと大使館から借用した民芸品展示・写真展を開催。
- 会場は国登録有形文化財「旧料亭 山王くらぶ」を使用しました。
- 地元紙のほか、ネットニュースにも取り上げられ、県外からも来館がありました。
- 11/20にはイベントを開催。ゲストのステージ、教育交流、経済交流の3部構成としました。

①セレモニーとゲストのステージ



- 駐日カザフスタン共和国大使館 アタッシュェのジャンドス氏にご来臨いただき、大使のメッセージがご披露されました。



- 東京外国語大学に留学のためご家族で訪日されているトツカリーナ・アクマラルさんをゲストにお招きして、歌や踊りを披露して頂きました。

②国際交流を学ぶ学生同士の交流会

カザフフェスタは「びかた」共催事業

山形の高校生と
カザフの学生との
オンライン交流会

【日時】 2024.
11/20
16:00～17:00

【主催】 山王くらぶ
山形県国際交流協会

【カザフ側参加団体】
カザフ国立大学東洋学部日本語学科

日本時間	カザフ時間	参加者名
16:00	11:00	高橋マシロニー（指導・参加者紹介）
16:10	11:10	高橋マシロニー（挨拶）
16:20	11:20	カザフスタン代表（プレゼンテーション）
16:30	11:30	質問・交流タイム
16:50	11:50	高橋マシロニー

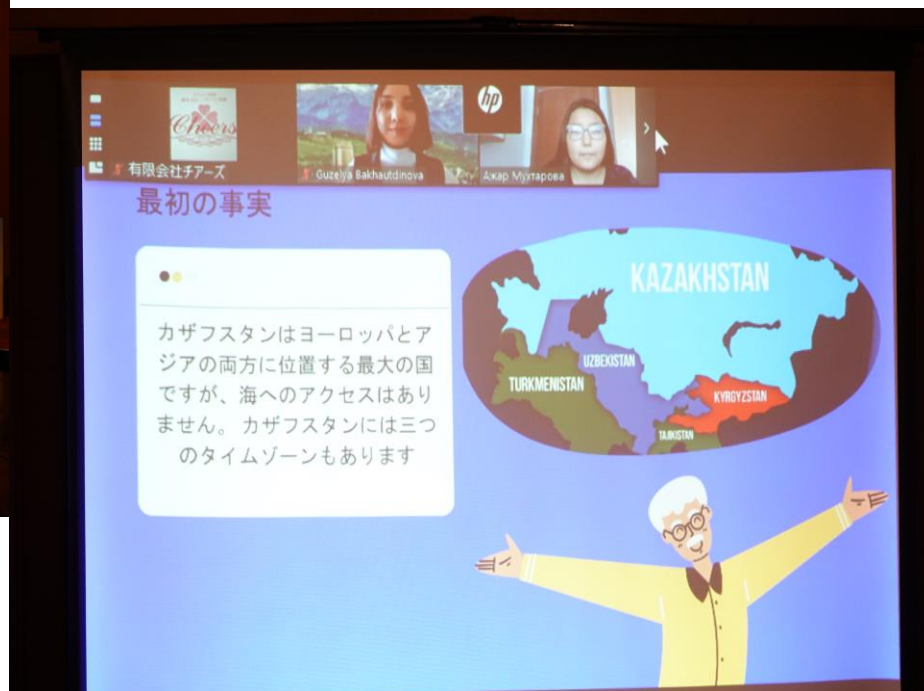
- 山形県内の2つの高校の生徒たちとカザフ国立大学東洋学部日本語学科の学生たちが自国の文化を紹介し、相手国の文化に対して質問をするオンライン交流会を開催しました。
公財) 山形県交際交流協会 令和3年度民間国際交流団体活動推進支援助成事業
- カザフ側のコーディネートはNRR社のグゼリャさんに依頼して約10名の大学生がオンラインで参加してくださいました。

自国を語り、互いに質問しあう学生たち



酒田南高校グローバル専攻科・羽黒高校国際コースの生徒たちが参加しました。

カザフの学生たちの発表はすべて流暢な日本語でした。



新鮮だったカザフスタン共和国の話



【酒田南高校 佐藤日南さん】
皆さんが、アニメなど日本のことをよく知っていて、とても関心が高いことに驚きました。そして今回の機会を得て、私自身も改めて庄内の魅力を感じることができました。国際交流は相手の地域も自分の地域も理解できる機会なのだと知りました。

【羽黒高校 加藤和司校長】
欧米や東アジアの国々と比べ、学習の機会が少ない中央アジアカザフスタンの学生との交流はとても有意義であると思います。将来的には交換留学などの可能性も広がっていったらいいですね。

③夜の部は経済交流

【木川屋酒店】
高橋修一さん
『山形の地酒をカザフの方々に楽しんで
頂きたい！』



【Oriori Japan】
藤川かん奈さん
『眠っている織物を活用したアクセ
サリーを世界に発信していきたく
い！』

藤川かん奈さん「カザフスタン女性経営者とのセミナー」で講演



カザフの女性経営者の方々は、
女性起業家を増やすための支援
策やサステイナブルな経営に関
して、とても興味をお持ちでし
た。



酒田で結ばれた絆は 永遠に！

を 酒田から日本中にカザフとの大きな友好の輪が広がること

そして両国の学生たちが 学びあい思いあうことを

心から祈り楽しみにしております。

**そして 最後に
私たちの大切な友人をご紹介します！**